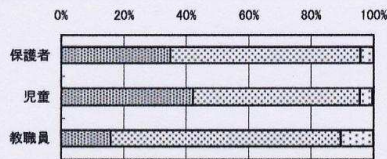


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

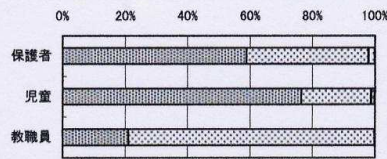
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



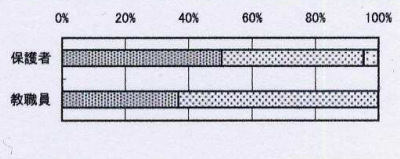
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

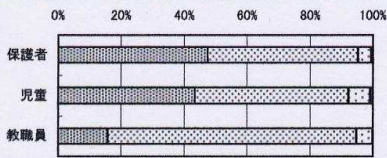


【学校から】○学校だより、ホームページ等で教育方針、教育目標を示しており、概ね理解してもらっているが、さらに理解を深めるために改善を図りたい。意欲的な学校生活については、児童の4段階の評価が昨年度より高くなった。教師の連携協力については、昨年度に比べ教職員の意識改善が図られてきた。「めざす児童」の育成に向けて、課題を見極め、諸教育活動での具体的方策を実践していく。

教科指導

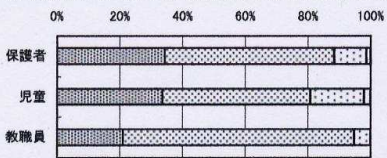
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

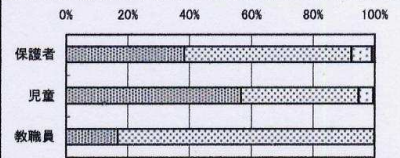
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



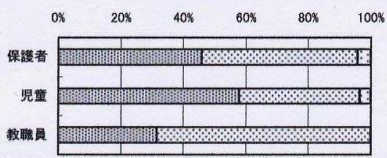
【学校から】○「授業づくりの工夫」において教職員の評価は、昨年度に比べて上がっているが、児童の評価が昨年度より若干低下している。また、「意欲的な学習態度」において、児童の評価が下がっており、今後児童の意欲を引き出すような授業づくりの工夫や児童のやる気を起こさせるように褒めたり、励ましたりするような評価や働きかけを進めていく。

【学校から】○地域とのかかわりを中心に進めてきたが、来年度から時間数が削減されるのを考慮した内容で実施する。また、新たな課題解決に向けた学習計画の見直しを図る。

道徳教育 心の教育

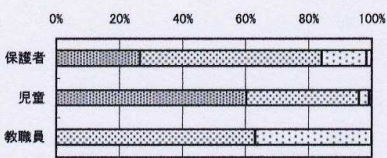
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に育てる心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

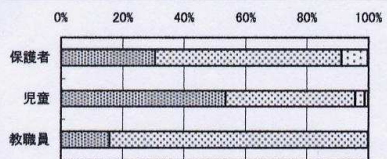


【学校から】○「道徳、心の教育の充実」においては、児童の4の割合が昨年度より高くなった。これは、道徳の時間を中心としてすべての教育活動の中で思いやりの心や感謝の心などの醸成を図ってきたからであろう。今後さらに児童の道徳的実践力を高めるような工夫をする必要がある。○「あいさつ、礼儀の励行」においては、保護者、教職員の評価が、児童に比べて低い。校内や地域でのあいさつ、トイレのスリッパ並べ、身の回りの整理整頓などの日常化を図るために、委員会活動や児童会等のさまざまな方策を実施し、改善したことを認め、褒めながらステップアップを図る。

人権教育

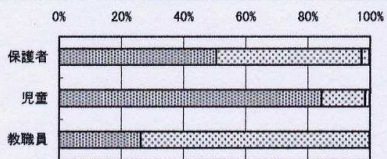
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

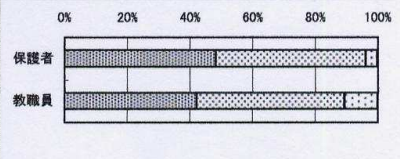


【学校から】○日常指導の中で、友だちとのかかわる場面を意図的に設定し、自分の思いや考えを伝える力を培い、かかわり合うことの素晴らしさに気づかせたい。すべての教育活動の中で「自分の大切さとともに他の人の大切さ」を実感できるような、実践を進めていく。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

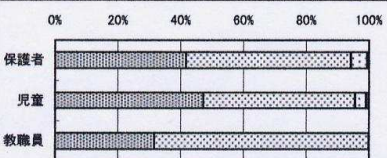


【学校から】○支援を必要とする児童の情報を共有し、どのように支援してきたかまた今後支援していくかについて、記録を行いながら支援体制を整備し、中長期的で体系的な支援を進める。

生徒指導 教育相談

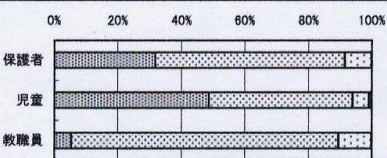
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



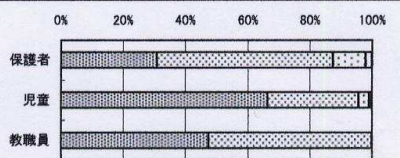
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

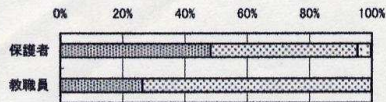


【学校から】○「いじめや問題への対応」の保護者の評価1、2が10%を超えている。日頃から、児童一人一人にしっかり目を向け、児童の発するシグナルを見逃さない手立て(日記、生活ノート、生活アンケートなど)を日常的に行う。児童がいつでも相談に乗れるような体制づくりを進める。また、屋休みの遊びや部活動の複数による指導などを通してコミュニケーションを深め、児童理解を図っていく。

## 健康教育 安全

### 15 安全と事故防止

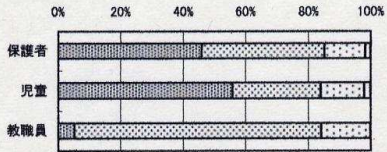
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



【学校から】○防犯パトロールボランティア活動により校区内での児童を取り巻く安心・安全な環境が整備されている。学校内においても、毎月設備等の点検活動を行い、生徒指導部を中心に校内外の安全な生活の送り方について、日常的な指導を行っている。体力向上については、毎火曜日の業間の時間に縄跳びや柔軟体操などに取り組み、全児童の体力向上を目指している。

### 16 体力向上

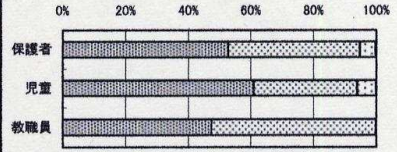
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

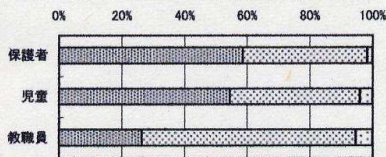


【学校から】○今年度は、すべての行事が予定どおりに実施することができた。どの行事内容でも、各学年が創意工夫を凝らし検討・計画し、めざす児童像達成に向けた練習を重ね、成果を披露した。次年度も更に内容が充実するように努め

## 学校環境

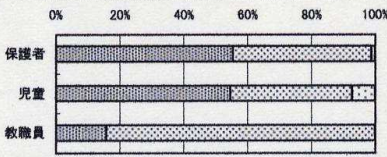
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

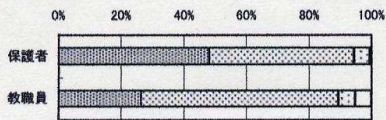


【学校から】○学年、学級の花壇を中心に花が育てられている。6年生は、総合的な学習の時間に地域の方の指導により、一人一鉢の「菊づくり」を行った。また、掲示については、広いワークスペースを効果的に活用し、児童の作品等が日常的に飾られている。地域ボランティアの方の支援により、校庭の環境が常に整備されている。また、毎月初めに職員の複数体制による安全点検を行い、施設・設備の安全管理を徹底する。

## 情報の公開・発信

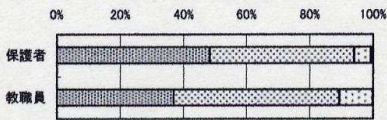
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

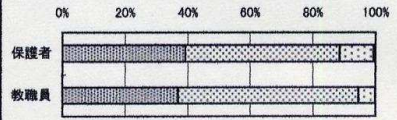


【学校から】○定期的な学級・学年通信、学校便り、ホームページにより、学校の様子、学校行事等については、保護者に伝えている。また、年度途中から、PTAとの連携により、「安心メール」を導入し、緊急の対応や行事の案内等をリアルタイムで発信している。次年度は、より多くの登録を働きかけ、必要な情報がより広く公開されるようにしたい。PTAとの連携を通して、多くの保護者、地域の方々が諸教育活動に参加しやすい体制をつくりたい。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

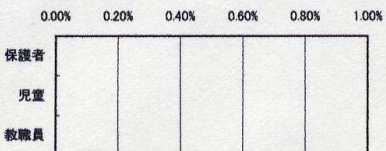
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】○残念ながら、保護者の約10%があまり連携が図られていないと答えている。これまでの実績の上に、新たな学校支援ボランティアを募集しながら、学校応援団の組織を確立してい

### (学校独自)

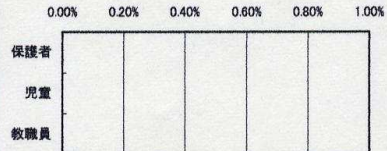
#### 23 0



【学校から】

### (学校独自)

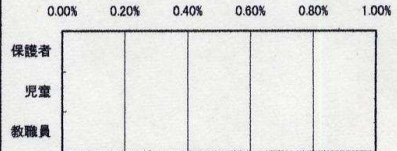
#### 24 0



【学校から】

### (学校独自)

#### 25 0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

○次年度、新学習指導要領が完全実施されるにあたり、各教科、諸教育活動の年間計画を本年度中に全面的に見直し、本年度から次年度へ滑らかな移行ができるように準備する。○学校教育目標の実現に向け、本校児童の実態を分析し、課題を明確にする。重要課題解決のための具体的な対策を組織的に取り組む。○教職員の指導力向上に向けて、校内研修テーマを再検討し、具体的な共通実践事項を設定し、授業を通して検証を行う。○児童の体力向上に向けて、組織的な取組が更に進められるように、校内研修を見直す。○本年度実施した「子どもを見つめる時間」における情報の共有の段階から、校内委員会を開き具体的な支援方法の実践まで進める。個別の指導計画の確実な記録を行い、データを次年度に引き継ぐ。○地域ボランティアの人材バンクを再構築するために、学校から地域に向けてボランティア登録の募集を行い、学校応援団組織を拡充する。

## 学校関係者評価

○全般的に、保護者、児童の学校への評価が高く、先生方の日頃の指導のあり方が評価できる。○地域ボランティアの募集については、大変良い提案である。地域には、いろいろな分野で指導できる人材が埋もれているし、その方々が学校に行くことが生きがいのなる。自治会長や公民館長を通じて、広く募集すると学校にはいりやすくなる。○本校でも携帯電話の所有率が高いということを知った。携帯電話をどのように使うのかは、家庭の問題ではあるが、今後地域でも気をつけて見ておく必要がある。○学校の課題を地域にオープンにし、課題解決に向けて地域の方々からよきアドバイスをいただきながら、よりよき教育活動を展開してほしい。